

スターゼン、LNG 仕様ボイラーへの転換により 年間約 500 トンの CO₂削減を実現

スターゼン株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：横田 和彦、以下「当社」）は、グループ会社である株式会社 阿久根食肉流通センター（鹿児島県阿久根市）においてボイラー燃料を重油から LNG（液化天然ガス）へ転換する設備更新を行い、この度本格稼働を開始いたしました。

阿久根食肉流通センターでは、生産工程で多量の蒸気を使用しており、これまでボイラー燃料に重油を使用していましたが、重油は燃焼時に CO₂や硫黄酸化物を多く排出するという課題がありました。今回導入した LNG は硫黄分を含まず、CO₂排出量が重油より約 30%低いクリーンな燃料です。ボイラー5 台を LNG 仕様の高効率なものに置き換えたことにより、年間約 500 トン、工場全体の約 10%に相当する CO₂削減を見込んでいます（注 1）。

当社は、2024 年に SBT「FLAG」認定を取得し、2030 年度までに GHG 排出量をスコープ 1・2：42%削減、スコープ 3：25%削減する目標を掲げており、本取り組みはその達成に寄与するものです。また、先般公表した「中期経営計画 2030」では、「GHG 削減の推進」を重点的に取り組む重要課題（マテリアリティ）の一つに定めました。引き続き、再生エネルギーや高効率設備の導入などを推進し、持続可能な社会の実現と当社グループの持続的な成長の両立を目指してまいります。

（注 1）環境省「脱炭素技術等による工場・事業場の省 CO₂化加速事業（SHIFT 事業）」での補助金を活用

■LNG ボイラー転換 概要



牛工場蒸気ボイラー（2 台）



新設した LNG タンク（左側の白い塔）

項目	内容
実施先	株式会社 阿久根食肉流通センター（スターゼングループ）
新規設備	① LNG 仕様ボイラー5 台（蒸発量：2.5t/hr×2 台、2.0t/hr×2 台、1.0t/hr×1 台） ② LNG タンク（容量：50kL）1 基
工事期間	2024 年度～2025 年度（2 年間）
環境効果	CO ₂ 削減量 年間約 500 トン（工場全体の約 10%に相当）

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

スターゼン株式会社 広報・IR 部 海老原俊司 TEL 03-3471-5521/FAX 03-3471-5690

E-mail information@starzen-group.com